

1. 社会・治安情勢

(1) リオデジャネイロ州全域でけん銃や小銃、手榴弾等を使用した殺人、強盗等の凶悪事件が引き続き多発している。

特に2016年以降、リオ州の財政破綻によって警察当局が治安対策のために必要な人的・物的対策を十分に整備することが困難となったこともあり、オリンピック・パラリンピックの終了後から急激に体感治安が悪化している。

(2) 依然として貧困層の少年らによる「アハスタオン（地引き網）」と呼ばれる集団強盗事件が市内中心部や海岸、幹線道路沿いで発生しており、治安当局もこれらの取締りを強化しているが、健全育成の方針を主眼とした少年法の影響により、逮捕した被疑少年の多くがすぐに釈放されてしまうなど、警察による取締りが治安改善に直結していない現状にある。

(3) また、リオデジャネイロ市内及びその周辺に約1,000か所存在するといわれるファベラ（スラム街）を中心に、敵対する麻薬密売組織間抗争が激化するとともに、UPP（リオ州軍警察平和構築部隊）をはじめとした治安当局と麻薬密売組織間における銃撃戦も頻発しており、流れ弾による一般市民の被害が後を絶たない。

さらに、幹線道路等においては、積荷を積載した車両を襲撃し、車両ごと強取る積荷強盗が多発しており、喫緊の課題となっている。

(4) これら課題に対処するため、2018年2月16日以降、大統領令による連邦政府主導の治安対策が試みられ、一定の成果は得られたものの、その根絶には至っていない。

(5) リオ州政府としても、2019年1月1日に就任した新州知事の主導の下、新設されたリオ州軍警察局及びリオ州文民警察局が中心となり、治安回復に取り組んではいるものの、州の財政難による新規採用枠の縮小や装備・資器材の故障、殉職・離職警察官の増加、組織的な汚職警察官の摘発等により警察力が低下する一方、凶悪犯罪が頻発するとともに、麻薬密売組織のファベラにおける既得権益を狙った『ミリシア』と呼ばれる自警団組織と麻薬密売組織間の抗争が激化しつつあり、予断を許さない状況にある。

(6) また、長引く不況を背景として、リオ市内におけるホームレスの数も数年前と比較して激増しており、麻薬中毒者が街中に集まったり、徘徊するなど、こうした状況が体感治安の悪化に拍車を掛けている一つの要因とも言える。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) リオ州公安統計院（ISP）によれば、2019年1月～10月までのリオ州内における殺人事件発生件数は、3,342件で、前年同期と比べて884件減少している。

(2) また、強盗事件発生件数は、17万958件で、前年同期と比べて2万4,902件

と大幅に減少しているものの、交通機関（バス）内強盗（+148件）や携帯電話強盗（+863件）等、身近な犯罪が対前年同期比プラスであるとともに、ここ数年減少傾向にあった窃盗事件発生件数が増加傾向（対前年同期比+1万722件）にあることから、注意を要する。

- (3) 第3四半期中、リオ市セントロ地区やコパカバーナ海岸などの観光名所において、邦人観光客が被害者となる強窃盗事件が発生しており、引き続き、観光名所等における各種犯罪に対する警戒が必要である。
- (4) このほか、麻薬密売組織間抗争を背景として、ファベラ周辺の治療が悪化しており、これまで比較的安全と目されてきたリオ市南部地区も例外ではないことから、細心の注意が必要である。

### 3. リオ州犯罪発生状況 2019年10月（対前年同月比増減数）

	リオ州	リオ大都市圏
殺人	317 (-66)	231 (-45)
強制性交等	532 (+44)	396 (+44)
商業施設強盗	359 (-95)	308 (-82)
住居侵入強盗	91 (-4)	75 (+9)
車両強盗	3,027 (-1,215)	2,923 (-1,183)
通行人強盗	6,264 (-1,096)	6,015 (-932)
交通機関内強盗	1,109 (-332)	1,092 (-320)
携帯電話強盗	2,184 (-293)	2,070 (-238)
強盗総数	15,549 (-3,598)	14,835 (-3,319)
窃盗総数	13,159 (+789)	10,947 (+670)
取扱件数	65,855 (+266)	53,328 (-559)
※警察介入の際の致死事件	144 (+17)	124 (+8)

### 4. ZONA SUL 犯罪発生状況 2019年10月（対前年同月比増減数）

#### 【フラメンゴ・ボタフォゴ地区】

殺人	1 (-1)
商業施設強盗	13 (-1)
住居侵入強盗	0 (-1)
車両強盗	30 (+8)
通行人強盗	100 (+19)
交通機関内強盗	19 (+9)
携帯電話強盗	52 (+1)
強盗総数	235 (+20)
窃盗総数	494 (+63)

### 【コパカバーナ地区】

殺人	1 (±0)
商業施設強盗	12 (+2)
住居侵入強盗	2 (+2)
車両強盗	1 (+1)
通行人強盗	66 (+3)
交通機関内強盗	10 (+4)
携帯電話強盗	19 (-10)
強盗総数	133 (+18)
窃盗総数	627 (+130)

### 【イパネマ・レブロン地区】

殺人	1 (+1)
商業施設強盗	13 (+3)
住居侵入強盗	0 (-4)
車両強盗	3 (-3)
通行人強盗	60 (+27)
交通機関内強盗	2 (±0)
携帯電話強盗	12 (-6)
強盗総数	104 (+22)
窃盗総数	377 (+67)

## 5. 一般事件等（邦人の安全に係るものを抜粋）

### （1）店舗強盗未遂（イパネマ地区）

10月2日（水）午後10時頃、リオ市南部イパネマ地区ビスコンデ・デ・ピラジャ通り（Rua Visconde de Piraja）沿いの『ロージャス・アメリカナス』に対し、少なくとも3名の武装集団が襲撃、同所付近警ら中の軍警察官との間で銃撃戦となり、被疑者1名が死亡、被疑者2名が身柄を拘束された。

### （2）持凶器強盗事件（サンタテレーザ地区）

10月25日（金）午後2時頃、リオ市サンタテレーザ地区において、邦人観光客が宿泊先ホテルへ向かっていたところ、前方から接近してきた男2名に周囲を囲まれた上、刃物を首筋に突き付けられて脅され、現金、携帯電話機、カメラ等在中のリュックサックを強取された。

### （3）窃盗事件（セントロ地区）

11月24日（日）午後2時5分頃、リオ市セントロ地区プレジデンチ・バルガス大通りにおいて、邦人観光客が周囲を撮影していたところ、自身のポケッ

ト内に入れていた携帯電話機を窃取された。

(4) 窃盗事件（コパカバーナ地区）

11月28日（火）午後11時頃、リオ市コパカバーナ地区ノッサ・セニョーラ・デ・コパカバーナ大通り所在の飲食店において、邦人観光客が友人らと共に飲食していたところ、携帯電話機を窃取された。

(5) 店舗強盗（イパネマ地区）

12月4日（水）午後6時頃、リオ市イパネマ地区ガルシア・ダビラ通り沿いの宝石店『サラ』に対し、けん銃武装した4名の強盗集団が襲撃、逃走途次、ヨガ教室に侵入して講師ら3名を人質に取って立て籠もったものの、所轄軍警察官らに包囲され、被疑者1名が現場で身柄拘束、もう1名が下腿に銃撃を受けて救急搬送された。

(6) 窃盗事件（コパカバーナ地区）

12月31日（火）午後11時30分頃、リオ市コパカバーナ地区アトランチカ大通り沿いの路上において、邦人観光客が自身のポケット内に入れていた携帯電話機1台を窃取された。

6. テロ・爆弾事件発生状況

事件の発生は認知していない。

7. 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 誘拐事件

邦人被害は認知していない。

(2) 恐喝事件

邦人被害は認知していない。